



まんだらげ

Vol.33

2015 SUMMER

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。



Photo:片男波海水浴場

Contents

特集 / 和歌山県立医科大学附属病院における
がん医療について

TOPICS / Student Doctor 称号授与式開催
平成27年度遠隔外来の実施についてほか

診療科紹介 / 病理診断科

お知らせ / 掲示板

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめる成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

和歌山県立医科大学附属病院における がん医療について

和歌山県では、昭和45年から死亡原因の第1位が「がん」とされています。
県の基幹病院である当院は、患者さんに高度で最適ながん医療を提供してきました。
本稿では、当院が提供するがん医療について簡単にご紹介します。



1 効率的で的確な検査

がんを正確に診断し、最適な治療法を決定するためには、的確な検査結果が必要不可欠です。当院では、血液検査、画像検査、内視鏡検査、病理検査等を組み合わせ、効率的で的確な検査の実施につとめています。

平成26年には内視鏡室の増室、病理診断科の標榜等、がん検査体制を充実させました。

2 高度で最適な治療

がんの治療法としては、主に、「手術治療」、「放射線治療」、「化学療法」等があります。当院では、これらを単独で行うのではなく、がんの種類や病期に応じて、さまざまな治療法を組み合わせる「集学的治療」を行っています。

治療法の決定においては、患者さんの意思を最優先に、病態のみならず、日常生活、就労状況等をも勘案し、総合的に判断する必要がありますが、当院では、医師だけではなくがん治療に関係するさまざまな専門職が集まり、患者さんの治療方針について、意見の共有、交換を行っています。また、治療と並行して、患者さんの生活の質を維持するため、がんのリハビリテーションにも力を入れています。

このように、患者さん一人ひとりに、科学的根拠に基づいた高度で最適ながん医療を提供するため、今後も取り組みを進めてまいります。

がん治療における主な治療法

①手術治療

がんの病巣を外科的に取り除く治療法です。

当院では、平成26年に手術室及び内視鏡室を拡充し、当院の高度な手術治療を迅速に提供する体制を整備しました。また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入するなど、より高度で先進的な手術治療の提供に取り組んでいます。

②放射線治療

放射線をがん細胞に照射することで、がん細胞の増殖を抑えたり、消滅させる治療法です。

当院では、最新の放射線治療機器である「トモセラピー」、「リニアック」を導入し、がんの病態により最適な放射線治療を提供しています。また、甲状腺癌や骨転移に対する「内部照射」、白血病に関連した「全身照射」、前立腺癌などへの「小線源治療」など、様々な癌種や病態に日々対応しております。

③化学療法

抗がん剤を用いてがん細胞の分裂を抑えたり、増殖をおさえたりする治療法です。

当院では平成26年に化学療法センターを拡充し、平成27年には「腫瘍内科」の診療を開始するなど、進歩が著しい化学療法の提供体制の充実、強化に務めて

います。また、多職種が連携した「チーム医療」の推進により、高度な化学療法を安心して受けて頂くよう取り組んでいます。

上記のほか、当院では患者一人ひとりに最適ながん医療を提供するため、さまざまな治療を実施していますので、主治医とよくご相談ください。

3 全人的な緩和ケアの提供

当院では、がんの治療と並行して、患者さんの身体的、精神的、社会的な苦痛を和らげるため「緩和ケア」の提供を推進しています。

入院中は「緩和ケアチーム」、外来通院では「緩和ケア外来」さらに緩和ケアを重点的に受けるために「緩和ケア病棟」が設置されています。これらの緩和ケア体制をより一層強化するために平成27年4月には「緩和ケアセンター」を開設しました。

<緩和ケアセンターとは>

当院における緩和ケア提供拠点組織として、平成27年4月に整備しました。医師5名(歯科医師を含む。)、看護師3名、薬剤師、社会福祉士、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、事務職員で構成され、多職



緩和ケアセンタースタッフ

種が連携して、質の高い緩和ケアの提供に取り組んでいます。

今後は、院内のみならず、地域の医療機関等とも連携し、県内の緩和ケア提供体制の強化に取り組んでいく予定です。

4 地域連携・相談支援

当院では、切れ目のないがん治療を提供するため、「地域連携室」が中心となり、地域の医療機関との連携を積極的に推進しています。また、地域連携室内に「がん相談支援センター」を設置し、患者さんからのがんに関する様々な相談に対応していますので、悩みごと等がありましたらお気軽にご相談ください。

新リニアック稼働開始

当院では、平成27年4月より、新リニアック装置の稼働を開始しました。

リニアックは開胸、開腹せずに、放射線で病巣部を治療する機器です。

今回導入したリニアックは「エレクタ・シナジー」という装置で、主な特徴は以下のとおりです。

- 4・6・10MVのX線エネルギーが選択でき、病巣部の深さに応じた治療が可能に。
- 5mm幅、80対160枚のリーフを有する高精細のマルチリーフコリメータにより、緻密な照射領域の設定が可能に。
- 診断用のX線装置を備えており、画像照合による正確な位置合わせ(IGRT)が可能に。
- 6軸寝台(HexaPOD evo)の搭載により、IGRTで必要不可欠な僅かな回転誤差なども補正でき、より高精度な治療が可能に。



エレクタ・シナジー



操作室

平成27年度 Student Doctor 称号授与式を開催 ～医学部5年生に認定証と白衣を授与～

医学部新5年生の臨床実習に先立って、4月21日、本学講堂で「Student Doctor 称号授与式」を執り行いました。

Student Doctorとは、全国の医学部が共通の問題を用いて行う医学全般の知識・実技の試験に合格し、臨床実習を行うことを許された医学部生のことです。全国医学部長病院長会議が認定するものです。臨床実習を開始するにあたり、認識や決意を新たに、厳かな気持ちで臨むことを目的として昨年から認定証と白衣の授与式を開催しています。

式では、岡村吉隆学長の式辞に続いて、吉田宗人病院長が訓辞を述べました。「医療人の一員として自覚を持って臨床実習に臨んでほしい」と学生らを激励しました。

そして大学関係者や家族らが見守る中、医学部5年生85名(男子60名、女子25名)を一人ひとり紹介し、Student Doctor 認定証と白衣の授与を行いました。

最後に、学生代表の奥村真侑さんが、「医療人として、Student Doctorとしての誇りと社会的責任をもって、感謝の気持ちを忘れず日々研鑽を積むこ



岡村学長



吉田院長



認定証と白衣授与

とを誓います。」と決意表明を行いました。

今後、85名の学生は各診療科で臨床実習を行い、知識や技術を身に付けることになります。

がん患者と家族、支援者らが勇気と希望を分かち合う ～リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015わかやまに参加～

平成27年5月23日(土)12時から24日(日)13時の間、和歌山公園砂の丸広場でリレー・フォー・ライフ・ジャパン2015わかやま(がん向き合う24時間)が開催されました。

1985年、アメリカで始まり、現在では世界20か国以上で開催されています。がん征圧を目指し、がん患者やその家族、支援者らがグラウンドを交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティイベントです。当院からは緩和ケアセンター栗山俊之講師、温井由美看護師ががん患者、がん患者家族、がん患者遺族と「がん心へのケア～それぞれの立場から～」について対談しました。また、石徹白しのぶ・温井由美両看護師による「医療相談会」、「リレーウォーク」へもそれぞれ参加しました。



平成27年度遠隔外来の実施について

～みなさんも「遠隔外来」を受けてみませんか？～

和歌山県立医科大学地域医療支援センターでは、平成26年7月より遠隔医療支援システム(インターネット回線を利用したテレビ会議システム)を利用した遠隔外来を運用しています。

平成27年度は、実施枠を14診療科26専門外来に拡大し、更に吉田宗人病院長による特別実施枠(専門外来名:脊椎・脊髄疾患)も設けました。

みなさんも「遠隔外来」を受けてみませんか？

遠隔外来とは？

遠隔医療支援システムを利用することにより、右下に記載の「遠隔医療支援システム設置医療機関」で当院の専門医によるアドバイスを受けることができます。

遠隔外来のメリット

当院まで来院されなくても、お近くの医療機関で専門医のアドバイスを受けることができ、通院に要する時間や経済的負担等を軽減できます。

また、お近くの医療機関の医師に加えて、当院の医師がアドバイスすることにより、複数の医師の診断が反映されます。

遠隔外来実施枠

消化器内科	炎症性腸疾患・肝臓・消化管内視鏡治療
循環器内科	心不全相談・冠動脈疾患治療相談・成人先天性心疾患相談・弁膜症治療相談
血液内科	血液疾患・HIV
神経内科	認知症・慢性頭痛
神経精神科	てんかん (休止中 平成28年1月より再開予定)
心臓血管外科	
呼吸器外科・乳腺外科	
食道外科	
脳神経外科	脳神経疾患
整形外科	脊椎・手足疾患・脊椎脊髄疾患
泌尿器科	前立腺がん・尿路結石・膀胱がん
皮膚科	皮膚一般
リハビリテーション科	義肢装具
麻酔科	慢性疼痛

遠隔外来イメージ



お近くのシステム設置医療機関

和歌山県立医科大学附属病院

留意点

- 遠隔外来は、当院の専門医が診療へのアドバイスを
行うものであり、診療行為を行うのはあくまで各システム設置医療機関の医師です。
- 遠隔外来に必要な患者情報は、事前に各システム設置医療機関より当院に提供されます。
- 遠隔外来の際の診療情報は当院の電子カルテに記録され、遠隔外来の際の映像も本学に保存されます。
- 遠隔外来の予約申込みは、各システム設置医療機関より、原則として遠隔外来を希望する日の2週間前までに行うことになっています。

詳しくは地域医療支援センター又はお近くの遠隔医療支援システム設置医療機関までお問い合わせください。

地域医療支援センター

お問い合わせ時間：月曜日から金曜日
8時45分から17時30分まで(祝日及び年末年始を除く)
TEL：073-441-0845(直通)
FAX：073-441-0846
E-mail：enkaku@cmssc.jp

遠隔医療支援システム設置医療機関一覧

医療機関名	担当部署名	TEL
橋本市市民病院	総務課	0736-34-6129
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院	事務室	0736-22-8364
高野山総合診療所	事務所	0736-56-2911
公立那賀病院	医事課	0736-77-2019
海南医療センター	事務局	073-482-4521
国保野上厚生総合病院	事務所	073-489-2178
有田市立病院	医務課	0737-82-2151
国保日高総合病院	情報企画課	0738-22-1111
独立行政法人国立病院機構 和歌山病院	事務部	0738-22-3256
独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	事務部	0739-26-7050
国保ささみ病院	事務所	0739-55-2065
那智勝浦町立温泉病院	事務所	0735-52-1055
新宮市立医療センター	医療業務課	0735-31-3333



診療科紹介

病理診断科

～新設された病理診断科～

病名・病態診断に大きな役割を果たす

教授:村田 晋一

病理診断科は、平成26年度に当院に新設された診療科で、人体病理学講座のスタッフが担当しています。

みなさんの中には、病理学といいますと基礎医学というイメージを持っておられる方もいらっしゃるかもしれませんが、2007年に厚生労働省の医道審議会標榜部会において、「病理診断科」の標榜が承認されてから、内科や外科などと同様に臨床科の一員という側面が強くなってきました。

病理診断科が行っています病理診断は、患者さん



より採取された細胞や組織あるいは臓器に対して、肉眼的、顕微鏡的あるいは分子学的解析法を用いて行われます。病理医は直接患者さんを診察することはありませんが、病理診断は、患者さんの疾患名や病態を決定する際に大きな役割を果たします。この病理診断は、医師免許が必要な「医行為」で、病理診断を専門とする医師が病理医です。病院に病理医がいることは、より良質の医療を提供することにつながります。

新規採用職員 宿泊研修・清掃活動実施

平成27年4月24、25日、休暇村紀州加太にてICF認定コーチ渡辺照子氏を講師に迎え、69名の新規採用看護職員に対し宿泊研修を実施しました。研修形式は、講義・ロールプレイ・グループ討議で、「社会人として、組織の一員として自覚をもつ」、「こんな看護師になる」、「そのための目標と計画性をもつ」について学びました。

社会人となり三週目でうけた研修は、それぞれが抱えている課題や不安を話し合う機会になりました。同じような気持ちをもっていることが確認でき、これか



宿泊研修



清掃活動

ら一緒に奮起していこうと前向きになることができる研修となりました。

また、6月6日、片男波海水浴場において、新規採用職員が中心となり、清掃活動を実施しました。地域美化活動を通して職員相互の親睦を図る良い機会となりました。

高野山開創 1200年記念大法会開催期間における医師、診療放射線技師派遣

平成27年4月2日から5月21日の間、高野山において、「高野山開創1200年記念大法会～1200年、祈りの光景～」が行われ、全国各地、また海外からも連日多くの人々が訪れました。総本山金剛峯寺の発表では、参拝者総数は60万人でした。

会期中、当院より宿日直応援医師、土日祝日の宿日直応援診療放射線技師を派遣しました。延べ38名の医師と10名の診療放射線技師が高野町立高野山総合診療所での診療及び検査にあたりました。救

急車の受け入れは49件(うち夜間・休日29件)、時間外受診者数は休日昼間72人、平日・休日夜間53人でした。



高野町立高野山総合診療所

お知らせ

日本医療マネジメント学会 第11回和歌山支部学術集会 開催

メインテーマ これからの医療を考える -組織マネジメントと圏域マネジメント-

【日時】平成28年2月13日(土) 【場所】和歌山県立医科大学保健看護学部

【基調講演】愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター長 医学博士 櫃本 真幸ひつもと しんいち

平成27年度 生涯研修センター研修会 最新の医療カンファランス

■7月9日(木)第3回

●いわゆる「健康食品」と保健機能食品

病態栄養治療部 川村 雅夫

●“病理医”って知ってますか？

人体病理学教室 村田 晋一

■9月10日(木)第4回

●早期診断のための尿検査の重要性

腎臓内科学教室 大矢 昌樹

●透析とはどんな治療？

腎臓内科学教室 根木 茂雄

■10月8日(木)第5回

●必ず役立つ認知症の知識

●気持ちよく惚け苦しまず死ぬ～よりよい認知症観のために～

神経内科学教室 廣西 昌也

【場所】和歌山県立医科大学

生涯研修センター研修室(図書館棟3階)

【時間】午後2時から午後4時まで

【定員】一般県民 100名(無料)

【会場案内】

■バスをご利用の方

医大病院又は医大病院前バス停下車

■電車をご利用の方

JR紀三井寺駅西口から徒歩10分

■車でお越しの方は有料駐車場完備

【問合せ先】

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学 生涯研修センター

TEL:073-441-0789 FAX:073-441-0710

※内容、演者につきましては都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。

平成27年度第17回和歌山県皮膚ガン無料相談・講演会のご案内

10月10日(土) 新宮市新宮ユアホテル 平安の間

『わかりやすい皮膚のできものの話』
和歌山県立医科大学皮膚科 助教 三木田 直哉

11月28日(土) 和歌山市 和歌山県JAビル 和ホール

『「手遅れです」と言われないために:本当は怖い皮膚のガン』
大阪府済生会富田林病院皮膚科 部長
皮膚がんセンター センター長 中川 浩一

いずれも午後1時から特別公演、午後2時から4時まで皮膚ガン無料相談会

共催:和歌山県皮膚科医会、和歌山市医師会皮膚科部会、和歌山県立医科大学皮膚科学教室 他

後援:和歌山市・新宮市 お問い合わせ専用ダイヤル Tel:090-3286-6492 (平日10時~17時)

LINEスタンプ作成

患者さんや家族、誰もが想いをうまく伝えられるように、当院がんペプチドワクチン研究チームの医師と看護師がLINEスタンプを作成し、「市民のためのがんペプチドワクチンの会」に提供しました。作成にあたっては、日々患者さんと接する立場から、患者さんの悩みや思いを受け止め、気持ちがうまく伝わるよう配慮しました。

購入方法

①「LINE」のアプリ→「その他」→
「スタンプショップ」→「患者の気持ち」で検索

② QRコード
から購入



予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「**予約制**」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」**にて地域連携室にFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、**予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

地域連携室

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※毎週金曜日は試行的に18:00まで受付しています。

■ご本人からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などで紹介状**をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「**当院予約センター**」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、**紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

電話予約センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

看護師・助産師募集中

※募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。
または下記までお問い合わせください。

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

TEL 073-441-0711 (事務局総務課)
<http://www.wakayama-med.ac.jp>
公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺811-1

病院ボランティア募集

みなさまの温かいお力をお待ちしております。

外来または病棟で、患者さんが安心して治療を受けることができるようボランティアの方を募集しています。

活動時間

外来①: 8時50分～11時30分
外来②: 11時50分～14時50分
病棟: 病棟と調整の上決定します。
(活動時間はいずれも調整可能です。)

※対象: 平日に活動して下さる18歳以上の方
詳細はお問い合わせください。

問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院
代表: 073-447-2300
医事課 ボランティア担当

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざま医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようになるため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。